

視察・研修報告(復命)書

三次市議会議長 様

報告者氏名 藤岡 一弘

下記のとおり、視察・研修が終了したので報告します。

会派代表者氏名 掛田 勝彦

経理責任者氏名 増田 誠宏

期 間	令和 5 年7月28日(木)
用 務 先	広島県三次市十日市南1丁目2-18 十日市きんさいセンター
用 務	研修 ひろしま議員女子会「地方議員のための役所を動かす質問の仕方」
概要及び所見 (目的, 参考に すべき事項, 提言, 活用策 等)	○研修テーマ「地方議員のための役所を動かす質問の仕方」 ○講師 地方議員研究会 統括コンサルタント 川本達志 ○研修内容 ①首長(執行部)の予算編成スケジュールと一般質問 ②成果を出すための一般質問の構造 ③成果を出すための段取り・準備 ④参考となる一般質問 ○所感 「良い仕事」とは、顧客に満足させる成果を上げることであるが、議員の「良い質問」とは、住民全体の福祉や生活増進に関して成果をあげることである。1 回の定例会や議場の一般質問で政策が決まることはないことから、成果を出すために質問・答弁が成果につながるイメージを持たなければならない。そして、質問・答弁・調整のストーリーを考え、実現するまで続けることが基本である。改めて、市民の生活向上にむけて、一般質問などの議員活動を見直しを行い改善をすることで、議員力をあげていきたい。

視察・研修報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 増田 誠宏

下記のとおり、視察・研修が終了したので報告します。

会派代表者氏名 掛田 勝彦

経理責任者氏名 増田 誠宏

期 間	令和 5 年 7 月 2 8 日（金）
用 務 先	十日市きんさいセンター 三次市十日市南 1－2－1 8
用 務	研修会「地方議員のための役所を動かす質問の仕方」
概要及び所見 （目的、参考 にすべき事 項、提言、活用 策等）	【応対者】 ひろしま議員女子会 勉強会 講師 地方議員研究会 総括コンサルタント 【概要】 ●良い質問とは 点と点を結び、ビジョンを提案する。暮らしを考え自分の心へ問いかけることにより、関係者へ共感を得ることである。その中で具体的な改善点や時代・地域にあったことを質問することである。 ●そもそも一般質問とは 定例会中の本会議において、議員が 11 人の議員として、執行部の政策、施策の在り方の問題点を問い質し、必要な場合は具体的な施策を提案し実行を要請するものである。 ・ 議会活動の主要なもので、議員活動の中でも重要な活動のひとつ ・ 政策を執行部のマネジメントサイクルに乗せる一つの大きな機会 ・ インターネットで（録画）放映されることなどから、より綿密な準備の下に、最

良のパフォーマンスが求められる。

議会・議員主体の政策マネジメントサイクルから質問を生み出す必要がある。

●成果を出すための段取り・準備

- ・ 役所を動かす質問の仕方に正解はある。質問の構造を考えて、効率的な準備をすること。
- ・ 先輩に聞いてもイマイチわからないのは、先輩も執行部の政策方針決定にかかわったことはないから当たりまえ。
- ・ 普通の職員は、仕事量を増やさないために、新たな政策の提案を嫌がり、責任追及を避けるために課題を指摘される質問を嫌がる。基本的に職員は、政策・事業を自ら作り出す立場にはない。
- ・ 議会答弁を、執行部の政策提案にできるだけ影響なく終わらせることが、幹部職員の高い評価につながる。
- ・ 一般質問は政策実現の切り札ではなく、推進するための道具と考えよう。これだけするのは無理である。

●一般質問における「成果」とは何か

- ・ 市民への明確な情報提供（共有）
- ・ 隠れていた重要な課題が見える化（理解）
- ・ 課題解決のための政策を提案し実現（実現）

【所見】

実際に役所が動いた質問は、住民からの要望を集会や個別に聴取するなかで、現状と課題認識を共有することである。そのことにより、まず1回目の一般質問をし、問題を事実として提示し、現状把握のための調査を求める。2回目に課題認識と仮説と提示し、3回目で仮説・検証・提案をする。こうして3回程度、手順を追って質問することにより、役所が動いていくことが分かった。

1回の質問ですべてが解決すると思わずに、しっかりと調査をしていく中で複数回の質問を考えていく必要がある。

また、一般質問で提示された課題を、常任委員会等で議会として取り上げ、政策提言につなげていく。そうした仕組みづくりも議会改革として必要である。